

II 令和6年度学校関係者評価委員会からの提言と学校の改善計画

◆1【人と人とのつながりについて】

提言	<p>アンケートの結果から、児童と児童を取り巻く人々との関係（つながり）が希薄になってきているのではない かと危惧される。また、ICTが普及し、児童が容易に使用できるようになったことで、コミュニケーションの中心 がSNSになりつつあることも、その一因ではないかと考える。そこで、学校には「関わり合った」からこそ得られ るよさを実感させる取組を行ってもらうように要請する。</p> <p>また、きまりを見直す際、児童と共にルール作りをしていくことが、意識の向上につながると考えられる。そこ で、児童の自律心の育成につながるこの方法を取り入れることも今後、考えてほしい。</p>
取組	<ul style="list-style-type: none">○「せたがや探究的な学び」を実践することを通して、友達と協働して学ぶ楽しさや良さを感じられるようにする。○学級会や行事などの特別活動の取り組みを通して、自分たちの思いを実現するために話し合い、決定して実行す る経験を積むようにする。その中で、自己肯定感や自己有用感を高めるようにしていく。○「砧南小のきまり」を令和7年度に向けて見直した。その内容について、保護者と児童に改めて周知し、理解をもと める。

◆2【ICT 機器の活用について】

提言	<p>アンケートの結果から、児童と保護者の意識の違いがあることが分かった。学校では、「セーフティ教室」や 「ネットリテラシー醸成講座」などを継続して行い、保護者にも声掛けして家族で話題にする機会を作つてほ しい。また、ICT 機器のよくない面を伝えるだけでなく、新しい技術に触れる機会を増やし、それについて家族 で話し合うことができるようになることを期待する。</p>
取組	<ul style="list-style-type: none">○児童対象のネットリテラシー醸成講座などに保護者の参加を促したり、保護者向けの講習会を参加しやすい保護 者会の日に実施したりして、保護者が児童と話題にできる機会を作る。○児童対象のSNS教室などを各学期で実施し、繰り返しSNSやインターネットの使い方について、学級または学年で 話し合うようにする。○保護者会などで、教員とまたは、保護者同士で子どもたちのICT 機器の活用について話題にする。

◆3【学校からの情報提供について】

提言	<p>情報提供については、肯定的評価が昨年度より増加しており、評価は改善傾向にある。すぐーるでの配信、 学校ホームページの毎日更新の成果であると考える。一方で、学び舎の取組や学校の重点目標、自然災害 時の対応についての情報提供は、さらなる改善を求める。</p>
取組	<ul style="list-style-type: none">○必要な時期に必要な情報が提供できるように、学校ホームページやすぐーる配信の内容について、吟味していく。○児童の活動だけでなく、教職員の研修や活動などについても紹介し、本校の教育活動により理解を求める。